

平成 26 年 2 月 17 日

2 系 稲田

同窓会臨時役員会議事録

日時：平成 26 年 1 月 7 日（火）18:00～21:00

場所：どんべえ（豊橋市広小路 1 丁目 37 番地）

出席者（敬称略）：古野会長，高島前会長，関下，戸高（1 系），稲田，宮城，後藤（2 系），加藤（3 系），栗田（4 系），岡辺（5 系）

議題：

1. 同窓会活性化のための体制強化と活動案
2. 同窓会資金の有効利用法，40 周年に向けての寄付金額と方法
3. 同窓会業務の外部委託
4. 留学生（海外）同窓会ネットワークの構築と連携強化
5. その他

1. 同窓会活性化のための体制強化と活動案

(1) 各系同窓会との連携体制構築

同窓会活性化に向けて，各系 OB の学年毎に窓口担当となる代表者を決めたい。代表者の選出は要検討（引き受けてもらえるかどうか・・・）。

(2) 各組織（企業，大学 etc.）別会員名簿作成 ⇒ 組織別 OB 会結成

OB が就職している企業毎で同窓会組織を整備したい。まずは役員と同級生，リクルータ等で大学に来られる OB の方への打診等により，企業毎の技科大 OB リストを作成したい（⇒ 取り急ぎ氏名のみ。リスト作成後，可能であれば，会長から同級生（一期生）の OB に連絡を取ることを予定）。

(3) 交流会などイベント企画（技科大祭，オープンキャンパス，講演会，各組織間交流会）

平成 25 年度から，8 月末のオープンキャンパスにて「集いの部屋」を実施。初年度の反省を踏まえて，次年度は一層の充実化を図る。また，懇親会・パーティー等の支援経費（応募制，年間 6 件程度申請有り）を継続していく。

その他，上記(1)(2)に挙げた各組織での OB 会組織間交流会や，社会で活躍されている OB の方の講演会などの企画等ができれば良い，との意見あり。

(4) 系別／年次別同窓会への支援

これまで，入会費（5,000 円）は全学同窓会会計として集中管理，終身会費（10,000 円）は旧 1～8 系

同窓会に配分している。学会再編後の新系所属として入学した学生の終身会費は“新系対応準備金”として一括してプールしている状況である。

同窓会の強化・活性化の観点から、同窓会会計は一括管理とする提案があった。各系の同窓会活動の独自性を尊重し、年度活動計画と予算申請を各系（旧・新）より提出、役員会で審議し承認し、予算措置のもとで実施していくプロセスを作る必要がある。本件については、後日メール審議による臨時役員会を開催し意見収集することとなった。

2. 同窓会資金の有効利用法、40周年に向けての寄付金額と方法

1-(4)とも関連。記念事業への協力・支援については、大学との共同実施、あるいは同窓会独自での実施があるが、どちらとするか結論には至らず今後の検討課題。

3. 同窓会業務の外部委託

同窓会の強化・活性化の観点から、名簿の統一データベースの構築と一元管理、それに基づく同窓会会員への発送やメーリング業務、同窓会の会計管理等の同窓会業務（名簿管理、会計）を外部委託する方向で今後検討していくことが提案された。本件については、後日メール審議による臨時役員会を開催し意見収集することとなった。また、委託先については今年度名簿担当の1系役員を中心に調査を進めることとなった。

4. 留学生（海外）同窓会ネットワークの構築と連携強化

海外同窓生ネットワークの構築と連携強化のために、海外同窓会支部（仮名）を設ける。関下先生を支部長とし、インドネシアセクションから立ち上げていく。必要となる会則改定（11条（業務））等については次回役員会で議論。

4. その他

- (1) 会計一元管理・同窓会業務の外部委託についてはメール審議による臨時役員会で意見収集を行う。
- (2) これまでは基本的に4月に定例役員会、必要に応じて臨時役員会を開催していたが、今後は役員会を四半期毎に開催したいと考えている（古野会長の希望）。次回は2月～3月中を予定。
- (3) 昨年10月の総会で意見の出た、同窓会としての法人格の取得は、時間・お金がかかりメリットもないため検討しない。
- (4) 次年度は学長含め執行部メンバーが交代するので、適切な時期に学長 - 同窓会懇談会を企画（例年6月中旬から下旬に実施）